

政治史(西洋) II

科目ナンバリング POL-106
選択 2単位

渡邊 啓貴

1. 授業の概要(ねらい)

ヨーロッパの国際関係史の大きな流れとそれを理解するための理論・概念について講義する。世界の国際関係の動きの基礎となる歴史を習得する。

2. 授業の到達目標

第一次世界大戦以後のヨーロッパ国際関係の歴史の概要を理解し、今日の欧州政治を理解する基礎作りをする。今日の国際関係の前提を把握できるだけの頭づくりを行う。

3. 成績評価の方法および基準

定期試験(60%)・出席(40%)などによる総合評価

4. 教科書・参考文献

教科書

渡邊啓貴 『ヨーロッパ国際関係史』 有斐閣

渡邊啓貴 『米欧同盟の協調と対立』 有斐閣

5. 準備学修の内容

教科書をあらかじめ読むと同時に、日ごろから授業で取り上げた文献などに目を通しておくこと

6. その他履修上の注意事項

歴史は出席していないとわからなくなるので休まず出席すること

7. 授業内容

- 【第1回】 第一次世界大戦とグローバリゼーション
- 【第2回】 ドイツ賠償問題
- 【第3回】 1920年代の相対的安定期
- 【第4回】 大衆文化の時代
- 【第5回】 ファシズムの時代
- 【第6回】 世界大恐慌
- 【第7回】 ヒトラー政権の誕生
- 【第8回】 ファシズム・ナチズムとは何か
- 【第9回】 人民戦線
- 【第10回】 宥和政策(1)
- 【第11回】 宥和政策(2)
- 【第12回】 1939年のヨーロッパ-ポーランド・ソ連との交渉
- 【第13回】 第二次世界大戦①
- 【第14回】 第二次世界大戦②
- 【第15回】 まとめと期末試験